

「英国のEU離脱の 影響と今後の展開」



講演会

講師紹介

上久保 誠人教授

現代日本政治論・
政策過程論・国際政治経済学

1968年生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。
 伊藤忠商事株勤務を経て、2008年、英国ウォリック大学
 (University of Warwick) で博士号(政治学・国際学)取得。
 早稲田大学グローバルCOEプログラム「アジア地域統合のため
 の世界的人材育成拠点」客員助教、立教大学法学部兼任講
 師、早稲田大学国際教養学部非常勤講師などを経て、2010
 年立命館大学政策科学部に赴任。

彩の国・ 校友の集い で会いましょう

第27回
総会・
懇親会

Beyond Bordersを掲げる今の立命館にふさわしい
 政治学・国際学が専門の政策科学部・上久保誠人教授。
 今年の彩の国・校友の集いには上久保先生をお招きし、
 「英国のEU離脱の影響と今後の展開」と題して講演頂き
 ます。

第27回総会・懇親会 彩の国・校友の集い



会場：東天紅 JACK 大宮店
 さいたま市大宮区錦町682-2JACK大宮(大宮情報文化センター)18階
JR 大宮駅 徒歩4分

「彩の国校友の集い」(埼玉県校友会総会)では一昨年、母校がスーパー
 グローバル大学(SGU)に選ばれ、国
 際化の時代へ新たな挑戦を始めたこ
 とを、昨年は産学協同での受託研究、
 助成事業で社会貢献の高い研究がな
 され成果を上げていることを伺いま
 した。母校の未来に進む姿を教えられ、
 大変心強く思いました。

今年の総会では21世紀前半の政治、
 経済に関する世界情勢をテーマに、イ

ギリスの国民投票の結果がEUに与え
 る影響、或は世界の政治、経済に与え
 る影響について、いずれ遠からず我々
 の生活にも多少の影響をもたらすか
 もしれません。大学もグローバル化を
 目指し進んでいるなか、我々校友も世
 界に目を向け、学ぼうとの気持ちから
 講演をお願いすることと致しました。

情報化時代は世界のニュースが瞬
 く間に我々に届きます。でも、そのこ
 とに流されてばかりで、そのニュース
 が何をもたらすのか立ち止まって考
 えることも必要ではないでしょうか。そ
 んな機会になればと願っています。

皆様ご多忙のこととは思いますが、
 是非、総会に足をお運びいただき、ひと
 とき講演と校友の交流にご参加下さ
 いますよう幹事会一同心よりお待ち申
 上げております。

2016年11月12日(土)

12:00~15:45 (受付: 11:30)

講演会	12:00~13:00
総会	13:00~14:00
懇親会	14:00~15:45

会費 **7,000円**

2012年度
以降の卒業生は
5,000円

申込み方法

出席を希望される方は右記の
 いずれかの方法よりお申し込みください。

① 埼玉立命ホームページ「参加申し込み」
 のページから申し込む。

② 裏表紙のFAX送信票に必要事項を記入し、
 立命館大学東京キャンパスまでFAXする。

今年から広報紙「埼玉立命」の内容を刷新します。

現在、県内から立命館大学に入学し、勉学に、
 スポーツに励んでいる学生は200名以上います。
 若い県内出身学生の紹介をシリーズで掲載しま
 す。また、県内の校友の自己紹介記事をシリ
 ーズで掲載して行きたいと考えています。母校で
 勉学、研究或はスポーツに励んでいる現役学生
 と大学を卒業され様々な人生経験を重ねて埼玉

方々をご紹介することを通じて交流が図れる広
 報紙に行きたいと念じています。

また、若い校友がここ数年「埼玉立命ユース」
 として活動を始めてきています。彼らの活動
 を力強く、頼もしく感じています。その紹介も
 随時掲載します。

校友の皆様の中で母校との思い出、先生との

邂逅等大学に関すること、或は仕事の成功談、
 失敗から学んだこと、ボランティア活動に関す
 ることなど、「生」(生きること)を通じて得た
 経験談、思い出など原稿を戴ければ、掲載して
 行きたいと思っています。お気軽に埼玉県校友
 会事務局までお問合せ下さい。

広報紙「埼玉立命」は県内校友の皆様との交
 流の「場」であり、お互いの励ましの「場」に
 していければと心から願っています。

第26回「彩の国・校友の集い」

上條 比呂志（1983・文）

平成27年11月14日（土）、越谷市にある越谷コミュニティセンターで、第26回「彩の国・校友の集い」総会・懇親会が開催されました。

当日は、埼玉県の校友24名、御来賓（大学関係者・近県校友会役員の方々）と合唱団メディックスのメンバー19名、計43名が参加し、加藤慎一常任幹事の司会進行で行なわれました。

開会の辞の後、合唱団メディックスのコーラスに合わせて全員で校歌を斉唱し、小玉秀生会長の挨拶、学校法人立命館・渡辺公三副総長及び立命館大学校友会・森川典子副会長より御来賓挨拶をしていただきました。

その後、議事が行われ、緒方仁幹事長より平成26年度の活動報告及び会計報告、並びに平成27年度の活動計画及び予算計画が報告され、全て承認されました。

次に、立命館大学研究部事務部長産学官連携戦略本部副本部長・野口義文様より「立命館大学の研究・産学官連携について」という演題で、母校の研究実績と今後の目指す目標について講演をしていただきました。

引き続き開催された懇親会は、最初に、栃木県校友会・笠原朋雄会長より御来賓祝辞をいただいた後、埼玉県校友会の中で今回参加者中最高齢である佐藤悟朗様による乾杯で始まりまし



合唱団メディックスによる合唱曲数曲の披露及び埼玉ユースの活動報告等が行われ、各テーブルとも、美味しいお酒と料理で舌鼓、昔話等をしながら大変盛り上がりました。また、昨年と同様に、同じ学部出身者ごとに記念写真を撮り、出席者全員で応援歌を高らかに歌い、鈴木昌治副会長による閉会のご挨拶で楽しい懇親会がお開きとなりました。

今回も、まとまりのある和気あいあいとした会で、より校友同志のつながりが深くなった「彩の国・校友の集い」でした。

今年も11月12日に「彩の国・校友の集い」が開催されます。多くの方々に集まっていただき、昨年以上に楽しい会になれば良いと思っております。



▲メディックスによる合唱の様子

次回

平成28年 第27回
「彩の国・校友の集い」
総会・懇親会のお知らせ

今年は11月12日に開催されます。
詳細・お申し込み方法は一面をご覧ください。
ご参加お待ちしております。

歴史散歩 熊谷市の妻沼聖天山（国宝）に行ってきました。 鈴木 昌治（1977・経営）



▲聖天山の前にて

私が校友会活動に参加している理由の一つは、校友会の皆さんと歴史散歩に参加し、埼玉県の地理・風土・歴史を知るとともに、皆さんとビールを飲みながら楽しく歓談することにあります。今年には埼玉県にある国宝を見に行こうということで、5月28日の晴れ

た土曜日に、総勢11名で熊谷市の「妻沼聖天山」（埼玉の日光）に行ってきました。

私が歴史散歩に参加した理由、それは自分が住む埼玉県のことをもっと知りたいと思ったからです。今から20年ほど前、当時小学校に通っていた私の子供が、遠足で「長瀬」に行ってきたと話をしていました。しかし、福井県出身の私には、長瀬がどこにあるのか、また、どのような所なのか全く分かりません。そこで、これからも住むであろう埼玉の地理や歴史を機会があれば知りたいと思っていました。ちょうどその頃、埼玉県校友会で歴史散歩を行うことになったので、喜んで参

加した次第です。

この歴史散歩のおかげで、福井以上に埼玉のことを知ることができました。楽しい仲間も増えました。この歴史散歩はこれからも続くと思います。皆さんもぜひご参加ください。



▲見事な彫刻が施された壁面

埼玉立命ユース紹介

リーダー
加藤 慎一 (2010・産社)

サブリーダー
佐古 稔英 (2012・経営)



▲ ボウリング大会の様子

埼玉県校友会では、若者・女性の参加を促進する目的で若手中心のグループ「埼玉立命ユース」を2013年に結成致しました。これは埼玉在住の卒業10年目までの皆さんに広く参加いただき、校友会活動に興味を持ってもらうと同時に、今後の活動に積極的に参加いただくきっかけとするためのものです。

これらの活動を行う上で、Facebookにて「埼玉立命ユース」のページを開設し、イベント告知や結果の発信を行っています。また、イベント開催時には校友会本部補助金等を活用させていただき、主に金額面において若者がより参加しやすい環境づくりに努めています。さらに、リコネクト東京と繋がりを持ち、リコネクト東京のイベント開催時は、埼玉県校友会の若手にも参加いただけるように声掛け活動を行っています。

我々は若手校友として、埼玉県校友会は非常にアットホームな会であることをつくづく感じています。人数だけを見ると大人数の校友会ではありません

が、50歳以上の年齢の差があるにも関わらず、まるで同世代の集まりであるかのようにいつも笑いが絶えません。これも、若手を快く受け入れていただける先輩方がいるからこそだといつも感じています。

最後に、校友会の中で企画の立案から実施までを経験できることが、我々ユースメンバーにとって大きな財産になっていると感じています。我々が校友会の中で積極的に活動していくことは、間違いなくこれからの新しい校友会活動の一歩となりますし、10年後の校友会を活発なものとするために今後も絶対に必要なことであると考えています。

今後も様々な企画を開催し、埼玉県校友会の発展を目指して活動して参りますので、引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。

イベント実績

2014年 12月 13日 クリスマスパーティー 2014
※埼玉立命ユースとして初めての企画
2016年 1月 30日 新年会 2016

ー以下、校友会への協力企画ー

2015年 4月 4日 花見大会
7月 5日 ボウリング大会 & BBQ
2016年 4月 3日 花見大会
7月 23日 ボウリング大会 & BBQ



▲ 2016年新年会の様子



▲ 上下：2016年 大宮公園にて花見大会

AEE ALL Equipments for Education
代表取締役社長

常田 幸正

(1961 文)

株式会社 文施総研・文教施設総合研究所
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7 神田中央ビル
TEL. 03-3512-2421 / FAX. 03-3512-2422
E-mail: tsuneda@onsa-aee.jp (office)
JZT02140@nifty.ne.jp

株式会社 ジャパンホームベーキングスクール 取締役
柔友会(立命館大学柔道部OB会)会長

橋本 豊英

(1960 経済)

小玉 秀生

(1968 文)

緒方 仁

(1969 経営)

鈴木 泰男

(1969 経営)

校友紹介 しもの 下野 均様 ひとし 京都府宮津市出身 昭和34年理工学部土木工学科卒業



昭和34年4月に建設省(現・国土交通省)に入省、近畿地方建設局和歌山工事事務所に配属となり、道路および河川の調査・計画・工事等に携わり、以降近畿地方建設局・本省等で様々なポストを歴任し、官房技術調査官を最後に平成5年に退職しました。この最後の官房技術調査官とは国の各種施策を地方に浸透させる一方、地方の国に対する要望を聞き、国と地方の窓口的な役割が主な仕事で、他にも建設業界に国の施策を説明に行く等外部との接触が多い

ポジションでした。私の30年余りの現役時代、特に印象に残っているのは総括災害査定官として全国の被災地に出向き、災害査定を通じ復旧と復興に係り、被災地域の多くの方々と苦労を共にしながらお役に立てたことです。その経験を活かし、現在でも災害復旧技術専門家として全国防災協会に登録しており、大災害が発生すると何らかの形でお手伝いをしています。

また、平成5年の退官時には母校、立命館大学理工学部土木工学科最後の授業に講演の機会を戴き、後輩に体験談を含め話が出来たことも感慨深いものがありました。

そんな私が埼玉県校友会に参加するきっかけとなったのは、退職前に埼玉

県内に新居を設けた時期に東京校友会の会合で埼玉県校友会の故松田浩章会長にお会いし、お誘いを戴いたからでした。現在は趣味のゴルフで校友の皆さんと交流を深めています。また、水彩画を始めており、ゴルフの腕より若干上がった水彩画をご覧頂ければ幸いです。(さいたま市浦和区在住)



▲平成28年6月日本女子アマ選手権が行なわれたグランディ那須白河GC

在校生紹介 こやま かずき 児山 一樹さん 埼玉県戸田市出身 経済学部国際経済学科4年生



立命館大学経済学部4年生の児山一樹です。出身地は戸田市です。出身高校は県立浦和西高等学校で、野球部に所属していました。

私が立命館大学を選んだのはダブルディグリー制度(海外の協定校でも学べ、終了時に両方の大学の学位を取得できるプログラム)があることと、未知の新しい地で自分を鍛えたかったからです。そして今日まで私は国際社会で活躍することを目標に、ゼミ活動や留学といった様々な活動に取り組みました。

経済学部では、JICA出身の黒川清澄教授のもとで、開発経済学を専門とするゼミに所属しました。このゼミで

は、理論を学習するだけでなく、発展途上国のフィールドワークに重点を置き、理論と現場の双方における重要性を学びました。また、学部横断ゼミ(国際社会で活躍する人材養成特別プログラム)にも所属しました。このゼミは経済学部、法学部、国際関係学部、産業社会学部、経営学部、政策科学部とキャンパスを超えて意欲の高い学生が集まるため、とても刺激を受けてより学習に励むことができました。そして岡本行夫特任教授と宮家邦彦特任教授といった、実社会で活躍する著名な実務家から交渉術や国際情勢について、最先端の教養をうけました。

留学に関しては、3年生の後期に、インドネシア大学経済学部で交換留学しました。この留学中に、開発経済学の学問対象である新興国の現状を、自



▲政府派遣プログラムで、ミャンマーに訪問した際の写真

分の目で見て、肌で感じることができ、とても貴重な経験を得ることができました。この他にも、JENESYS2015やTOMODACHI PROJECTといった、政府代表のプログラムで、ミャンマーやアメリカ合衆国で、対日理解を促進する活動も行いました。

このように、立命館大学は様々な機会を与えてくれる大学です。私は、在学中にこういった機会を一つ一つ掴み、立命館大学のスローガンでもある“Beyond Borders”を体現し、国際社会で活躍する基礎力や志を醸成することができました。

将来は、世界銀行やUNDP、アジア開発銀行といった国際機関で活躍して、国際開発・協力の分野で、世界を牽引する人材になりたいと思います。自分の進路実現に向けて、残された学生生活をより一層励んでいきます。



▲岡本行夫先生の奨学金で行った韓国での研修にて



▲学部横断ゼミにて指導教官の岡本行夫先生と

リオ五輪の影響で ボート全日本大学選手権は9月に

鈴木 泰男 (1969・経営)



毎年8月に戸田で開催されるボート全日本選手権(通称インカレ)は、リオ五輪に日本が出場枠を獲得したことから、9月開催(9月22日~25日)となり、わが校友会等にて協賛してきた恒例の激励会は残念乍ら中止となりました。

9月インカレ後、授業の関係で選手は試合後即日帰郷します。ただし従来通り競技場戸田ボートコースでの応援

は実施しますので、宜しくお願いします。ここ10年毎年わが校友会の夏の風物詩として実施してきた恒例の激励会がないことに、一抹の寂しさを覚えるところです。

さて、試合後の激励会は、昨年から神奈川・東京・千葉校友会の参加のもと、立命ボート部OB・OG会メンバーで活躍を慰労する会です。

関西より遠征してくる監督・コーチ・選手との交流の場であり、善戦した選手団を大いに激励し、今後の活躍を鼓舞する機会です。このような会合を得てここ数年、ご承知の通り立命クルーは、インカレでの優秀な成績を挙げております。それが関

西を代表する実力を発揮している源泉にもなっていると思います。

このようにスポーツで校友会が一体となれることは、わが校の発展に寄与することです。これも皆様方の応援したいという気持ちに感謝しているところです。

来年は、激励会開催がありますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



▲ 激励会にて ボート部員と一緒に

「校友会未来人材育成基金」 ご協力をお願い

2012年から立命館大学校友会は「学生に対する様々な支援」(校友会会則に掲げられている目的)を実行するために基金の創設を大学に申し入れ、「校友会未来人材育成基金」と命名して取り組みを開始しました。その目的は、未来を切り拓く人材である現役学生(後輩)の育成をバックアップすることです。

昨今、就職しても奨学金を返済できない、あるいは返済のため生活に余裕がなく将来の夢も描けないといった報道を目にします。アメリカでは民主党内で大統領候補選の大きなテーマにまでなりました。低い経済成長率では賃金の右肩上がりのアップは見込めませんから、今後も貸与型の奨学金返済は厳しいことと思います。

「校友会未来人材育成基金」は給付型ですから返済義務はありません。後輩の問題意識とその解決策を支援し、その成長を援助するものです。多くの後輩が成長することは、社会人として日本や世界で活躍することにつながり、ひいては母校の発展に寄与するのではないかと思います。

「日本の未来の人材を、母校を通じて育てるのだ」という趣旨にご賛同いただき、ご協力いただければ幸いです。

寄付は任意となりますので、皆様の善意と賛同が頼りです。ご寄付いただいた金額に関しては税制上の優遇措置がございませぬ。

埼玉県校友会としても若手の加藤慎一さんをそのリーダーとして、校友の皆様のご協力をいただければと活動し

ていますが、まだまだ不十分な取り組みで苦労しています。推進のための良い提案があればご教示ください。

校友会未来人材
育成基金活用事例
報告書Vol.1



寄付の仕方等詳細について

「立命館大学校友会ホームページ」の「未来人材育成基金情報サイト」
(<http://gift2r.info/>)

または下記、埼玉県校友会事務局
(03-3552-2201/榎本哲郎副幹事長)まで
ご連絡ください

上 林 山 秀 孝
(1971 産社)

清 水 哲 雄
(1971 理工)

公認会計士
鈴 木 昌 治
(1977 経営)

有限責任監査法人 トーマツ

〒100-0005 千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル
TEL. 03-6213-1135

2016年度 役員名簿

名誉顧問	1951 法 丹羽尊照	1953 経済 曾田豊吉	1955 理工 太田八郎
顧問	1956 理工 岡島由雄	1960 経済 橋本豊英	
相談役	1965 法 西垣義明	1961 文 常田幸正	
会長	1968 文 小玉秀生		
副会長	1977 経営 鈴木昌治	1981 経営 内野生朗	
幹事長	1969 経営 緒方仁		
副幹事長	1983 文 上條比呂志	1987 理工 田中正三	1988 産社 榎本哲郎
会計	1987 文 伊佐由美子		
監事	1963 法 川添修司	1966 理工 橋本宗義	
常任幹事	1960 経済 山本孟人	1963 法 永倉素子	1967 理工 金原政敏
	1969 経済 梶島康夫	1969 経営 鈴木泰男	1970 理工 太田坦
	1971 理工 木敷和彦	1971 理工 清水哲雄	1975 経営 伊藤貞夫
	1980 理工 蓑崎裕人	1981 理工 中尾陽	1990 経済 鐘田浩士
	2009 経営 山本博基	2010 産社 加藤慎一	2012 経営 佐古稔英
幹事	1959 法 新井勝	1959 理工 下野均	1960 理工 北川英雄
	1963 理工 上田勝	1968 経営 鬼木義明	1968 文 五井章雄
	1969 経営 豊岡雅範	1971 産社 上林山秀孝	1971 文 真部はるみ
	1971 法 横田高弘	1972 経営 八代裕昭	1977 産社 大熊章一
	1985 理工 多田浩之	2003 経営 田本淳治	2011 経営 大倉淳

埼玉立命ユース

リーダー	2010 産社 加藤慎一
サブリーダー	2012 経営 佐古稔英

2015年度 埼玉県校友会活動報告

2015年	
4月 3日	金 第8回ゴルフ大会 (大宮ゴルフコース)
4日	土 埼玉立命・花見大会(大宮公園)
18日	土 第1回幹事会
6月 6日	土 立命館大学校友会幹事会 (OIC) 出席
13日	土 第2回幹事会/新人歓迎会 (リコネクト)
20日	土 ビール工場見学 (府中本町)
7月 18日	土 神奈川県校友会総会出席
25日	土 第6回ボウリング大会 (浦和)
8月 23日	日 全日本ボート大学選手権大会 応援/激励会
9月 12日	土 第3回幹事会/会報誌「埼玉立命」発送
19日	土 第9回ゴルフ大会 (東松山カントリークラブ)
26日	土 栃木県校友会総会出席
10月 3日	土 岩槻歴史散歩 (中止)
11日	日 オール立命館校友大会2015 in OIC
25日	日 茨城県校友会総会出席
31日	土 第4回幹事会
11月 1日	日 千葉県校友会総会出席
14日	土 第26回 彩の国・校友の集い 埼玉県校友会総会・懇親会
29日	日 群馬県校友会総会出席
2016年	
1月 3日	日 立命館アメリカンフットボール応援 (東京ドーム)
23日	土 第5回幹事会/埼玉立命 新年会
30日	土 埼玉立命ユース新年会2016
2月 6日	土 東京校友会総会出席
27日	土 全国都道府県校友会代表者会議出席
3月 12日	土 第6回幹事会

2016年度 埼玉県校友会活動予定

4月 3日	日 花見大会 (大宮公園)
15日	金 第10回ゴルフ大会 (大宮ゴルフコース)
23日	土 第1回会幹事会
5月 28日	土 歴史散歩・妻沼聖天山 (熊谷)
6月 4日	土 立命館大学校友会幹事会 (OIC)
11日	土 第2回幹事会/会報誌「埼玉立命」編集会議
18日	土 新人歓迎会 (リコネクト)
7月 23日	土 第7回ボウリング大会 (浦和)
9月 10日	土 第3回幹事会/会報誌「埼玉立命」発送
25日	日 全日本ボート大学選手権大会 応援
10月 15日	土 第11回ゴルフ大会
22日	土 第4回幹事会
29日	土 オール立命館校友大会2016 in 金沢
11月 12日	土 「第27回彩の国・校友の集い」 総会・懇親会
12月 3日	土 「クリスマスパーティー2016」 埼玉立命ユース
2017年	
1月 7日	土 七福神巡り
21日	土 埼玉立命 2017年新年会/第5回 幹事会
2月 25日	土 全国都道府県校友会代表者会議
3月 11日	土 第6回 幹事会

	西支部	中央支部	東支部			
支部長	1971 理工 清水哲雄	1969 経営 鈴木泰男	1981 理工 中尾陽			
副支部長	1980 理工 蓑崎裕人	1987 文 伊佐由美子				
構成市町村	朝霞市	入間市	川口市	戸田市	春日部市	久喜市
	ふじみ野市	川越市	鳩ヶ谷市	蕨市	越谷市	幸手市
	坂戸市	狭山市	さいたま市	上尾市	草加市	蓮田市
	志木市	鶴ヶ島市	伊那町	橘川市	三郷市	八潮市
	所沢市	新座市	加須市	北本市	吉川市	栗橋市
	飯能市	東松山市	行田市	熊谷市	杉戸町	松伏町
	日高市	富士見市	鴻巣市	羽生市	鷲宮町	駒西町
	和光市	越生町	深谷市	本庄市	菖蒲町	白岡町
	三芳町	毛呂山町	江南町	寄居町	宮代町	
	小川町	川島町	大利根町	北川辺町		
	ときがわ町	滑川町	神川町	上里町		
	鳩山町	吉見町	美里町			
	嵐山町	秩父市				
	小鹿野町	長瀨町				
	東秩父町	皆野町				
	横瀬町					

蓑崎 裕人
(1980 理工)

内野 生朗
(1981 経営)

株式会社浦野設計
上條 比呂志
(1983 文)
東京本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-12
TEL. 03-3811-9128 / FAX. 03-3811-9582
E-mail: h-kamijou@urano-s.jp
URL: http://www.urano-s.co.jp

2015年度収支報告書および2016年度収支予算書（案）

(2015年4月1日～2016年3月31日)

(2016年4月1日～2017年3月31日)

(単位:円)

(収入の部)				(支出の部)			
	2015予算額	2015実績額	2016予算(案)		2015予算額	2015実績額	2016予算(案)
年会費収入	210,000	165,000	195,000	定期総会費用	340,000	359,719	378,000
定期総会・会費収入	240,000	164,000	185,000	印刷・通信費	410,000	341,809	342,000
寄付金収入(支援金を含む)	200,000	172,000	180,000	総会関連	(260,000)	322,750	
校友会本部活動費補助	170,000	70,000	170,000	ユース活動	(140,000)	0	
				その他	(10,000)	19,059	
				慶弔費・交際費	100,000	72,470	85,000
広告収入	150,000	130,000	130,000	幹事会費	10,000	1,524	5,000
				支部・イベント活動支援費	100,000	15,011	50,000
雑収入	0	63,300	0	雑支出	10,000	82	
本部交通費補助		233,400	0	全国会議等交通費	0	233,400	0
小計	970,000	997,700	860,000	小計	970,000	1,024,015	860,000
前期繰越金(現預金)	613,118	613,118	586,803	次期繰越金(現預金)	613,118	586,803	586,803
合計	1,583,118	1,610,818	1,446,803	合計	1,583,118	1,610,818	1,446,803

伊佐 由美子
(1987 文)

エクセルアート株式会社

代表取締役社長

榎本 哲郎
(1988 産社)

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8
TEL. 03-3552-2201 / FAX. 03-3552-2271
URL http://www.excelart.co.jp/

「活動報告」「参加申し込み」
などの詳細は埼玉立命のHPIに出て
います。ぜひご覧ください。

埼玉立命

検索

→埼玉原校友会年会費・支援金用払込用紙です。

02 東京		払込取扱票				通常払込料金 加入者負担											
口座記号番号						金額											
0	0	1	2	0	7	1	5	7	9	3	6						
立命館大学 埼玉県校友会						料		金		備考							
※ お振込金の内訳																	
年会費 3,000円																	
支援金 1,000円 × 口						合計						円					
昭平 年						学部						卒					
おとこ (郵便番号)						日						様					
※ おなまえ						日						附					
(電話番号)						日						附					
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第 52187 号)						日						附					
これより下部には何も記入しないでください。						日						附					

振替払込請求書兼受領証

001207		通常払込 料金加入 者負担			
口座記号番号		157936			
加入者名		立命館大学埼玉県校友会			
金額					
ご依頼人		おなまえ			
料金		日 附 印			
備考		日 附 印			

この受領証は、大切に保管してください。

2015年度 校友会支援金 出資者名簿

- 20,000円 常田幸正
- 10,000円 小玉秀生
- 5,000円 伊藤貞夫、内野生朗
- 4,000円 鐘田浩士
- 2,000円 浅井嘉昭、飯田洋三、伊佐由美子、岩切健、榎本哲郎、鬼木義明、小野塚政一、金原正敏、黒川賢一、佐藤悟朗、多田利男、谷澤正巳、豊岡雅範、永倉素子、成田典昭、西岡良倫、眞殿晏武、蓑崎裕人
- 1,000円 川添修司、嶋村卓、清水秀幸、下野均、白勢淳一、八代裕昭、若杉秀雄
(敬称略、五十音順)

2015年度 校友会年会費 納入者名簿

相澤紀史、浅井嘉昭、飯田洋三、伊佐由美子、石岡泰子、伊藤貞夫、岩切健、上原哲也、内野生朗、榎本哲郎、緒方仁、岡田義則、鬼木義明、小野塚政一、加藤慎一、鐘田浩士、金原正敏、上條比呂志、川添修司、上林山秀孝、木藪和彦、黒川賢一、小玉秀生、佐古稔英、佐藤悟朗、嶋村卓、清水哲雄、清水秀幸、清水優、下野均、白勢淳一、鈴木昌治、鈴木泰男、多田利男、谷澤正巳、常田幸正、外岡哲治、豊岡雅範、中尾陽、永倉素子、中野弘、中牟田雅、成田典昭、橋本豊英、橋本宗義、廣田陽、弘田稔博、松岡直昭、眞殿晏武、眞部はるみ、三浦淳史、蓑崎裕人、八代裕昭、山本孟人、若杉秀雄
(敬称略、五十音順)

年会費・支援金の納入にご協力をお願いします。

年会費 **3,000円**
支援金 1口 **1,000円**
(何口でも結構です)

埼玉校友会誌「埼玉立命」の発行費用、ホームページの運営費、総会案内等の同封発送費等は皆様からの年会費・支援金によって支えられています。今後の校友会活動を継続させていくためにも、年会費納入による積極的なご支援をお願い致します。

埼玉県校友会・会長 小玉 秀生

FAX 送信票

※必要事項をご記入のうえ、10月24日までにお送りください。
FAX送信先: **03-5224-8189** (立命館大学東京キャンパス)

ご近況について、また校友会・会報へのご意見・ご要望をお聞かせください。

彩の国・校友の集いに
(いずれかに○をつけてください。)

出席 ・ 欠席

氏名	(旧姓)	卒業年次	西暦	年卒
〒		勤務先		学部
現住所		〒		科
TEL		所在地		
E-mail		部課(役職)		

(ご注意)
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになる場合は、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとこと、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

課税相当額以上
貼 付

印

通 信 欄

インターネットからでも振込できます。

- ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方で、かつゆうちょダイレクトの契約をされている方。
→オモテ面に記載の口座番号あてにお振込みください。
- 他の銀行(インターネット含)からお振込みされる場合
→以下の口座番号あてにお振込みください。

ゆうちょ銀行 ○一九店 (ゼロイチキュー店) 店番: 019
預金種目: 当座 口座番号: 0157936
口座名: 立命館大学埼玉県校友会

※この用紙を使わずに上記の方法でお振込みされる場合は、必ず氏名の後に卒業年と学部をご記入ください。

← 埼玉県校友会年会費・支援金用振込用紙です。総会・懇親会の会費は当日会場にてお支払いをお願い申し上げます。

この場所には、何も記載しないでください。